

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道256号 <small>かなやまげろ</small> 金山下呂道路	事業区分	一般国道	事業主体	岐阜県														
起終点	自：岐阜県下呂市金山町乙原 至：岐阜県下呂市保井戸	延長	5.4 km																
事業概要	<p>一般国道256号は、岐阜県岐阜市を起点とし、郡上市、下呂市を経由して長野県飯田市に至る延長約219kmの幹線道路である。このうち金山下呂道路は、郡上～中津川を結ぶ地域高規格道路、濃飛横断自動車道（80km）の一部を整備するものであり、「高速道路の空白地帯」と言われる県内有数の観光地である下呂温泉を有する下呂地域のアクセス改善等を担う延長5.4kmの道路である。</p>																		
H9年度事業化	都市計画決定なし	H11年度用地着手	H12年度工事着手																
全体事業費	239億円	事業進捗率	89%	供用済延長	— km														
計画交通量	2,500台/日																		
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">14.2</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	1.0	(残事業)	14.2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">20/273億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(事業費：17/270億円 維持管理費：3/3億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総費用 (残事業/事業全体)	20/273億円	(事業費：17/270億円 維持管理費：3/3億円)		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総便益 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">277/277億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(走行時間短縮便益：229/229億円 走行経費減少便益：34/34億円 交通事故減少便益：14/14億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総便益 (残事業/事業全体)	277/277億円	(走行時間短縮便益：229/229億円 走行経費減少便益：34/34億円 交通事故減少便益：14/14億円)		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border-bottom: 1px solid black;">基準年</td> <td style="text-align: center;">平成23年</td> </tr> </table>		基準年	平成23年
B/C (事業全体)	1.0																		
(残事業)	14.2																		
総費用 (残事業/事業全体)	20/273億円																		
(事業費：17/270億円 維持管理費：3/3億円)																			
総便益 (残事業/事業全体)	277/277億円																		
(走行時間短縮便益：229/229億円 走行経費減少便益：34/34億円 交通事故減少便益：14/14億円)																			
基準年	平成23年																		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=13.8(交通量-10%) B/C=14.5(交通量+10%)</p> <p>事業費変動：B/C=13.1(事業費+10%) B/C=15.5(事業費-10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=13.7(事業期間+20%) B/C=14.6(事業期間-20%)</p>																		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間の観光交流や産業振興の推進 ・災害時に有効に機能するネットワークの確保 																		
関係する地方公共団体等の意見	<p>金山下呂道路は、下呂市の観光産業の発展、高速道路との広域交通ネットワークを形成、地域産業の振興や相互交流の促進させることが期待されており、下呂市をはじめとする濃飛横断自動車道促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。</p>																		
事業評価監視委員会の意見	<p>「事業継続」することは「妥当」である。</p>																		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成20年に東海北陸自動車道が全線開通となり、高速道路の空白域である地元では、本路線への関心、要望が更に高まってきている。</p>																		
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>全体進捗率89%（うち用地補償進捗率95%）（H22年度末事業費ベース）</p>																		
事業の進捗が順調でな理由、今後の事業の見通し等	<p>今後は平成24年の国体開催までのトンネル区間供用を目指して整備を進めていく。</p>																		
施設の構造や工法の変更等	<p>トンネル残土の処分方法の見直しによりコスト縮減を図っている。</p>																		
対応方針	事業継続																		
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>																		
事業概要図																			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。